

発祥400年の伝統と新しい時代の魅力が融合した南座が、 「2019年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日経MJ賞」を受賞

松竹株式会社が運営する京都四條 南座が、日本経済新聞社から毎年優れた新製品やサービスへ贈られる「日経優秀製品・サービス賞」において、最優秀賞の一つである「日経MJ賞」を受賞いたしました。
(<http://www.nikkei.com/edit/news/special/newpro/2019/>)

近年の「日経MJ賞」最優秀賞には、SONYの“人工知能（AI）で育つ犬型ロボット”「aibo」や衣料品通販サイトZOZOTOWNの“自宅で全身を採寸できるボディースーツ”「ZOZOSUIT」の受賞などがあります。

2018年に大規模改修を終え新開場した南座は、従来の伝統的な公演はもとより新たなエンタテインメントの創出にも尽力して参りました。今回、文化財としての価値を重視し、あえて建て替えをせずに外観・内装を維持しつつ安全性向上を可能とした点、またICT×歌舞伎の「超歌舞伎」をはじめとする斬新なプログラムが歌舞伎発祥の地で開催される意義は大きいとの高い評価を受け、この度の受賞に至りました。

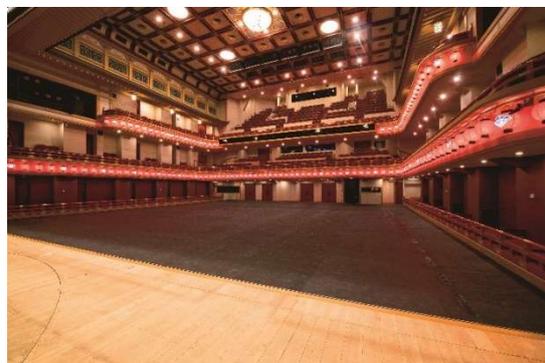


400年の伝統と新たな魅力が融合する劇場として、 2018年11月、南座が新たに甦りました。

日本を代表する歴史的な文化都市・京都に立地し、発祥から400年を超える歴史と伝統を受け継ぐ劇場「南座」が、約2年9か月にわたる耐震補強大規模改修工事を経て、2018年11月新たに開場いたしました。

国の登録有形文化財でもある歴史的意匠や外観・内装を保存再生の上、建物の安全性を向上。同時に劇場設備全般を更新すると共に、最新の技術や演出による新たな劇場体験を提供することも兼ね備えた劇場に生まれ変わり、歌舞伎をはじめとする伝統的な古典芸能から新しいライブエンタテインメントまで、これまで以上に幅広い文化を国内外に発信する劇場として新時代への一步を踏み出しました。

歴史と伝統と華やぎのある劇空間が安心安全とともに新たに甦り、 劇場設備全般のリニューアルとバリューアップを果たしました。



客席空間と舞台空間のシームレス対応をはじめ、大容量デジタル信号ネットワークの敷設、斜め宙乗りや客席上空フライング等への新対応、廻り舞台・セリ機構の無段変速化、さらに観客用エレベーターの新設、観客席の全面リニューアル、昭和初期からの照明器具類の全LED化等、劇場設備のバリューアップと文化財としての価値の保存再生を両立致しました。

～南座発祥四百年を記念した歌舞伎の祭典「吉例顔見世興行」から
令和の時代の新しいライブエンタテインメントまで～

伝統と新しい魅力が融合した南座新開場記念ラインナップの数々

2018年11月にスタートした南座新開場記念ラインナップは、南座発祥四百年を記念した「吉例顔見世興行」を筆頭に、多彩で豪華な演劇公演と、新たなエンタテインメントの創出に力を注ぎました。

2019年5月「京都ミライまつり2019」Supported by SUNTORYは、客席と舞台をシームレスにする新機構“フラット化”を活用し、フードフェス、縁日、プロジェクションマッピング、DJクラブなど格式ある伝統的な空間で多様で新しいエンタテインメントが各方面から大きな反響とご好評をいただきました。



2019年5月「京都ミライまつり2019」屋まつりより



続く6月の新作歌舞伎『NARUTO』、7月OSK日本歌劇団の「サクラ大戦」とのコラボレビューなど新しい公演を重ね、8月は歌舞伎俳優中村獅童とバーチャルシンガー初音ミクの共演により伝統芸能“歌舞伎”と最新テクノロジーが融合した「超歌舞伎」を初の劇場公演として開催。参加型の新しい歌舞伎体験が年代や国籍を超えて評判となりました。2020年には「六月南座超歌舞伎」として次回公演も決定しています。

そのほか、1月の喜劇公演や落語会、2月『滝沢歌舞伎ZERO』、3月「坂東玉三郎特別公演」、4月「都をどり」、5月「音まつり」での音楽フェス、9月花形歌舞伎『東海道四谷怪談』など、伝統的な公演から大胆で新しい企画まで、文字通り“伝統と革新”を体現した彩り豊かなラインナップにより従来以上に幅広いお客様に、新しい南座へ足をお運びいただきました。

南座は次の100年も時代や文化の最先端を意識しつつ、伝統的な「傾くところ」を大切にしながら最上のコンテンツをご提供し、多彩な文化を国内外に発信する責務を担って参ります。

2020年1-2月は、最新の没入型演劇“イマーシブシアター”を南座で初上演いたします！



NYブロードウェイをはじめ世界の演劇界で話題を呼んでいる最新の没入型演劇「イマーシブシアター」が南座に初登場！舞台と一体となった1階エリアで物語に入り込むか、2,3階エリアで物語の結末を裁決(投票)するか、2つの観劇スタイルから選んでいただく新しい参加体験型演劇を南座から発信いたします。

◇『サクラヒメ』公演情報

公演名：イマーシブシアター『サクラヒメ』～『桜姫東文章』より～

日程：2020年1月24日(金)初日→2月4日(火)千歳楽

会場：京都・南座

<https://kyoto-sakurahime.com/>

本件に関する窓口：松竹(株)南座 宣伝 TEL 075-561-6017 / FAX 075-531-6222